

「パソコン整備技師養成コース設置計画」

2002年8月10日、サンパウロ市郊外のヴィラ・ミッシヨナリア地域にある、カステリーニョ住民センターにおいて、草の根無償資金協力により導入されたパソコン及び関連機材の引渡式が開催されました。

ヴィラ・ミッシヨナリアは他州からの多くの移民を含む人口過密地帯で、住民は低い教育・所得水準や脆弱なインフラにより、厳しい生活を強いられています。1954年に創立されたサンパウロ・ウーマンズ・クラブは、こうした状況を改善するため、1968年より同地域のカステリーニョ住民センターに向けた活動に特化し、教育、保健、職業訓練、識字、老人福祉などの分野において支援を行ってきました。



教室開所のテープカット



パソコン整備技師養成コースの教室



サンパウロ州文化局の指導による、コミュニティの青少年の合唱と演奏

式典には、サンパウロ・ウーマンズ・クラブのオリキデア・コルチオリ会長、赤阪清隆総領事を始め同クラブ役員、ボランティア、地域住民が参加する中、サンパウロ州文化局が後援する、センターの子どもたちのコーラスとオーケストラのグループによる歌と演奏が披露され、心温まる式典となりました。

最後に、実際にコースが開設される教室に場所を移して除幕が行われ、そこでも地元青少年による美しい弦楽演奏が披露されました。



赤坂清隆総領事(左)とサンパウロ・ウーマンズ・クラブ オルキデア・コルチオリ会長

○上記案件のプロフィール

案件名：「パソコン整備技師養成コース設置計画」

実施団体：サンパウロ・ウーマンズ・クラブ

契約署名日：2002年5月22日

供与限度額：US\$8,071

案件概要：本件協力は、サンパウロ・ウーマンズ・クラブが支援するカステリーニョ住民センターにおいて、パソコンの整備技師を養成するための職業訓練コースを開設する計画に対して行われました。本計画に対しては、事前の労働市場調査、訓練教室のデザイン、教材の提供、インストラクターの指導、修了後の認定書授与に対し SENAI（全国工業訓練サービス）がバックアップしており、コース修了者の就業機会の拡大効果が期待されます。